

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3970800086
法人名	社会福祉法人 合歓木の会
事業所名	グループホーム 百日紅の家
訪問調査日	平成20年8月27日
評価確定日	平成20年10月6日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970800086		
法人名	社会福祉法人 合歓木の会		
事業所名	グループホーム 百日紅の家		
所在地 (電話番号)	土佐清水市グリーンハイツ42-1 (電話) 0880-82-0919		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年8月27日	評価確定日	平成20年10月6日

【情報提供票より】(平成20年8月6日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤4人、非常勤6人、常勤換算6.6人	

(2) 建物概要

建物形態	併設/単独	新築/改築
建物構造	木造り	
	1階建ての	1階～階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,000円	その他の経費(月額)	20,000円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000円		

(4) 利用者の概要(8月6日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名	
要介護1	2名	要介護2	5名			
要介護3	2名	要介護4	名			
要介護5	名	要支援2	名			
年齢	平均	84歳	最低	75歳	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	足摺病院、松谷病院、いなん病院、植垣歯科
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

県西部では早く開設されたこのグループホームは、当初から地域や子供達との関わりを大切にしており、関連法人である学校法人しみず幼稚園の園児との交流が利用者の心を和やかにし、笑顔を絶やさない良い関係ができています。高台の新興住宅地の中にあるホームの周りには、百日紅の木やヤマモモの木が植えられ、野菜畑や芋畑もあり、冬には園児と焼芋をして楽しむことが出来る。理事長や管理者の情熱が職員一同に浸透し、利用者が自分らしく暮らすことが出来るよう、一つの家族、一つの家庭を築いていこうという取り組みがされている。
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回の外部評価で見出された改善課題については、長期及び短期目標を定めた改善計画を作成し、改善に取り組んでいる。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価の一つ一つの項目について職員から意見を聞き、管理者がまとめているが、自己評価について理解不足の職員も見受けられるので、評価の意義やねらいについて職員への理解を徹底されたい。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) ホームからは事業所の現状や外部評価で明らかになった課題などを報告し、メンバーには利用者が今まで以上に地域と密着し交流できる方法などを考えてもらうなど、双方向的な会議となっている。その結果、区長場で行っているペットボトル体操の情報を得て、利用者が参加している。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 苦情窓口を明示し、意見箱を設置しているが今まで苦情や意見は寄せられていない。しかし、家族同士で話し合える機会がないので、家族会等を組織することを期待したい。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会に加入し、地域の一斉清掃やペットボトル体操に参加し、地域の店での買い物や喫茶店での飲食など、地域との交流を図っている。前回の改善課題であった地域住民の参加協力による防災訓練も実施している。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 「グループホームは家であり、(利用者には)自分の親、祖父母のように接し、幼稚園児との日常的な交流を行い、地域と密着しながら生活をする」という独自の理念がある。 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 毎日のミーティングで話し合い、常に職員間で理念について意識づけしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 利用者が職員を自分の家族と感じられるように、職員は優しく、ゆったりした態度で接し、利用者の昔からの生活を大切にするため、出来る限り行きつけの店に出かける支援をするなど、理念の実践に向けた取り組みをしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域活動の情報を集め、町内会の一斉清掃や区長場でのペットボトル体操などに参加している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 管理者が職員の意見を聞き自己評価を作成しているが、職員は自己評価の意義等について少し理解不足が見受けられる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 前回の外部評価で見出された改善課題については、長期及び短期目標を定めた改善計画を作成し、改善に取り組んでいる。	○	評価の意義とねらいについて全ての職員が理解し、取り組んでいくことを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>ホームからは事業所の現状や外部評価で明らかになった課題などを報告し、メンバーには利用者が今まで以上に地域と密着し交流できる方法などを考えてもらうなど、双方向的な会議となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>評価で明らかになった課題を報告し、地区代表の民生委員から地域の情報を得て、ペットボトル体操に参加するなど、改善に向けて取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>事業所がかかえている問題を相談し、助言を受けるなど、日頃から交流を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>日々の暮らしぶりがわかるホーム便りや利用者一人ひとりの写真入りの手紙を定期的に送り、好評を得ている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>預かり金の内容を定期的に報告している。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p><input type="checkbox"/>家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。</p> <p>身寄りのいない人や家族が県外にいる人が多く、家族会も組織されていないため、家族同士が意見を出し合えるような仕組みが出来ていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。</p> <p>意見や苦情があれば、毎日のミーティングで話し合い、問題解決するとともに、原因を究明し、ケア会議等で周知し徹底するようにしている。</p>	○	<p>家族等の意見や苦情はグループホームのサービスの質を向上させる良いきっかけとなるものであり、呼びかけの方法を検討しながら、家族同士が意見を出し合える「意見の交換会」「家族の会」等を企画し、家族からの意見や苦情が出やすくなるような仕組みづくりを期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 利用者との馴染みの関係に配慮し、職員の異動は同一法人内での異動も2～3年に1回に留め、継続的に支える体制にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 職員の異動時には利用者のダメージを防ぐため一週間程度の引継期間をとり、スムーズに移行できるようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 入社一年目の新人研修、二年目以降の介護支援専門員研修等、研修計画を立て、段階に応じ職員全員に研修を受ける機会を作り、実践している。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 ケア会議で報告し、研修綴りとしていつでも閲覧できるようにして共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 市内のグループホーム連絡会を立ち上げ、職員同士の交流を行っている。また、他のグループホーム間との実践研修の参加や受け入れを行い、相互に職員の資質向上に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 入居前に病歴、生活歴、本人の希望等を事前に聞き取り、把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 希望すれば家族も一緒に寝泊まりできる数日間の体験入居を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 主に、管理者と主任職員で面接を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。</p> <p>職員は常に理念を念頭におき、利用者の自尊心、自主性を大切にし、生活のパートナーとして共に支え合って生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>生活のパートナーとして、食事作りから洗濯、簡単な作業など、共に笑顔で話しながら、ゆったりと和やかに過ごせる環境づくりを心がけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。</p> <p>人生の先輩としての物の考え方、季節の行事の準備、味つけ、盛りつけ、花の活け方等、利用者から学ぶ場面がある。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>日々の生活の中で、昔からの想いやこれからの暮らし方の希望など、利用者の意向の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族、病院、知人、同級生、近隣者等関係者から情報を得ている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>本人の気持ち、家族からの意見や要望等を把握し、介護計画を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>月1回職員全員でケア会議を行い、意見を出し合って介護計画を作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 3カ月ごとに見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 本人の状態に変化が生じた時は家族に来院してもらい、話し合っって新たな計画を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 協力医療機関等と連携し、骨折後のリハビリ通院を支援するなど、事業所での生活が継続できるよう努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 本人や家族の要望に応じ病院と話し合い、終末期ケアを提供している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 墓参り、自宅への一時帰宅、信仰の集まり等、特別な外出や通院の送迎支援をおこなっている。</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 市外への受診は家族が対応しているが、困難な場合は職員が支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。 受診結果については家族と連絡を取り、内容を記録して情報を共有している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>重度化した場合の対応、看取りに関する指針を定め、早めに家族、医師、職員で話し合いを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>主治医への24時間連絡体制を確保するなど、医師、職員が連携をとり、取り組んでいる。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>全職員が理念に基づき利用者一人ひとりの自尊心を大切にして支援しており、トイレ誘導や見守りもさりげなく行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>職員間でお互いに気づいた点があれば直ぐに話し合い、改善するなどして徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>個人情報保護法について勉強会を開き、職員が法の趣旨を理解することに努めている。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>常日頃から、利用者がどのように過ごしたいかを把握するため、食べたい物、行きたい所、見たいもの等聞く機会を多く持ち、その日の体調や希望にあわせ、ドライブ、散歩、買い物等柔軟に対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>職員は利用者の生活リズムを大切に、その人らしい暮らしができるよう心がけている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 食事の準備から配膳、片付けまで、利用者と職員と一緒にいき、食事前には口腔体操を行い、「いただきます」のあいさつで食事を始めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員は見守りをしながら、会話を楽しみ、同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 毎日入浴する人、一日2回シャワーを浴びる人など、利用者の希望にあわせて入浴できるように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴を拒む人には、言葉かけの内容や時間を変えて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 入居時の生活歴等の把握や入居後の日々の生活の中での言動などから把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 料理の好きな人に調理を手伝ってもらい、勉強が好きな人には計算ドリルを渡し、手芸の好きな人には編み物をしてもらったり、利用者の経験や知恵を生かせる場面を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 自分には出来ないと思っている人にも、料理の下ごしらえを手伝ってもらうなど、役割や楽しみごとを作り出す働きかけをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>墓参り、知人宅への訪問、地元の祭り、馴染みの店や美容院への外出など支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p>毎日少しでも外へ出る事を目標に積極的に支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p>		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>利用者の外出習慣や傾向を把握しており、本人が納得するまで一緒に歩く等の対応を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>馴染みの店や近所の人からも理解されており、見守り、声かけ、連絡などをしてもらえる関係を築いている。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。</p> <p>地区住民、民生委員、利用者、職員で年2回避難訓練を実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p>利用者一人ひとりの好き嫌いを考慮し、献立に取り入れ、栄養バランスに配慮して献立を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>関連法人の幼稚園の栄養士が定期的にチェックしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>中央ホールには全員が座れるソファを配置し、畳の部屋にはマッサージ機を置き、玄関には外を見ながら座れる椅子を並べ、それぞれの場所でゆったりと過ごせる共用空間になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>吹き抜けの天井からは自然の光が射し込み、絵画や理事長自ら描いた作品、利用者全員で作った作品、写真等を飾り、和みのある場所になっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>ホームの周りには、野菜畑になすやピーマンが実を付け、やまもの木、百日紅の木等も植えられ、玄関にはメダカの水槽、ブーゲンビリアの花、居間のテーブルには小鉢に活けられた季節の花など、季節感や五感の刺激に配慮した工夫が見られる。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。</p> <p>タンスやテレビはもちろん、自作の塗り絵、写真、人形を置くなど、個別に工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。</p> <p>利用者と相談しながら、部屋の明るさの調整や手すりの設置など、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p>		